

あんなこと、こんなこと

関市イメージキャラクター
「関*はもみん」



4月1日～15日にあった
市内の話題を中心に
ご紹介します。

神輿をくぐって御利益を

上之保八幡神社で伝統の春の大祭「先谷まつり」が開かれました。太鼓や笛の音に合わせて神楽や獅子舞などが奉納されたほか、神様が乗ったおみこしがその年の農作物の出来具合を見回るといって「おたび」が行われました。「棒ふり」と呼ばれる鬼に悪口を言って追われたり、叩かれたり、氏子がかつぐおみこしの下をくぐると災厄を逃れるなどの風習があり、参拝者は手をつないでおみこしの下を次々とくぐり五穀豊穡や無病息災を祈っていました。最後に、餅投げもあり、境内は多くの来場者でにぎわいました。



地域委員会について学ぶ

市は、住民自治制度「地域委員会」の構築に向けて試行的モデル事業の取り組みを進めています。武儀地域では自治会連合会武儀支部、武儀地域委員会、NPO法人日本平成村の各団体役員が集まり、勉強会を開きました。三者連名でモデル事業に手を挙げ、組織づくりをはじめ、地域課題の洗い出し、地域振興計画の作成など検討を重ねながら具体的な活動をしていく予定です。



交通事故撲滅へ街頭啓発

春の全国交通安全運動実施期間（4月6日～4月15日）の初日、中濃地区交通安全協会などが主催して交通安全街頭指導所を関市文化会館駐車場に設置し、シートベルトの着用や飲酒運転の撲滅を呼びかけました。交通事故死亡事故多発県内警報が発令中であつたことから、尾関市長も特に力を入れて、一層の交通事故防止について啓発しました。死亡事故ゼロを目指して、ドライバーの方へ啓発グッズを配布しました。



ゴルフ場で遊んだよー

県内でも有数の名門ゴルフコース「岐阜関カントリー倶楽部」(山田)が今年も開放され、市内保育園児560人が広い芝生の上で、のびのび元気な姿を見せました。春の暖かな日差しと今にも咲きそうな桜と新緑に包まれ、コース内で園児たちは大興奮。ボール遊びに大縄跳び、裸足でかけっこ、坂を使ってダンボールすべりなど、時間がたつのも忘れて大はしゃぎしました。



頑張れ!フレッシュマンを応援

この春、建設業や金融業などの市内事業所に入社した新入社員の激励大会とセミナーがわかさプラザで開かれました。将来を担う新社会人に希望と自覚を持ってもらおうと、関商工会議所・市雇用促進協議会が毎年開催。尾関市長が「若い力で市を盛り上げて」と激励すると、新入社員を代表して関信用金庫の清水智成さんが「多くの困難や試練を乗り越えて、大きな進歩と自信につなげたい」と決意を述べました。



優雅な音色奏でて200回

広く市民にピアノなどの演奏を楽しんでもらうお昼のミニコンサート「関市文化会館アフタヌーン・コンサート」が4月で200回目を迎えました。さろん・こんさーと・せき実行委主催で毎月1回、原則第1土曜日の午前中に開かれています。市役所を会場に開かれていたコンサートから16年以上継続。記念すべき200回目のこの日は、マンドリン&ピアノ演奏が披露され、多くの来場者が音色に酔いしれていました。



防災力強化のために

自主防災組織の強化を図るため、育成指導や教養訓練などに努める「防災指導員」の委嘱式が市役所で開かれました。防災指導員は、災害情報の収集、市内各地に設置された備蓄倉庫の管理、資機材の取り扱いや応急処置の指導などを重点的に行うもので、任期は2年間です。災害時における安全・安心なまちづくりのために、行政だけでは対応しきれない面で必要不可欠な皆さんの活躍をお願いします。

こぼれ話

先日、迫間にある「ふどうの森」へふらりと出かけました。迫間不動尊でお参りをしながら、どンドン山の上を目指して歩きました。普段運動をしていない僕には、なかなかきつい運動でしたが、遊歩道が整備されているので、思いつきで行っても割と気軽に登ることができます。そして、展望ポイントがいくつもあり、あちらへこちらへと時間が経つのも忘れてしまうほどです。

明王山見晴台では、北向きには見慣れた関市街を一望でき、市役所や我が家などを探したり。また、南向きには、各務原市から犬山市、名古屋市中心街にある高層ビルまでも一望できます。そして東向きには美濃加茂市や可児市方面が一望でき、同じ場所からそれぞれの地域の特色ある地形や建物など、すばらしい眺めを楽しむことができます。いつもの街並みを少し違った角度から見ると、なんだか楽しいですね。景色に限らず、いろいろな角度から物事を見ることは大事なことだと実感できる貴重な時間を過ごすことができました(^o^)

